

国際機構法（国際機構法特別特殊講義）授業計画#1 及び予習教材

2013 年 4 月 5 日

*今年度は、担当教員の海外出張の関係で補講を多く行う予定です。補講と休講の予定は以下のとおりです。

補講：4 月 27 日（土）2 -3 限、5 月 11 日（土）2 限、5 月 25 日（土）2 限

休講：6 月 3 日（月）、7 月 1 日（月）、7 月 8 日（月）、8 月 6 日（火）

4 月 8 日

講義の概要説明

テーマ 1：南極条約体制の概説

必読文献：柴田「南極条約体制の基盤と展開」（4/5 より事前配布）

参考資料・文献：南極条約体制基本資料、林司宣「第 3 章極地」（4/8 授業にて配布）

参考文献：柴田「国際法形成フォーラムとしての南極条約協議国会議の『正当性』」国際法外交雑誌第 99 巻 1 号（2000 年）、1-31 頁。

4 月 15 日

テーマ 2：南極条約事務局設置交渉の分析

必読文献：柴田「南極条約事務局設置の法的意義」（4/8 授業にて配布）

4 月 22 日

テーマ 3：南極条約事務局設置に関する国際機構法的論点の整理

必読文献：植木俊哉「第 7 章国際組織法」、181-206 頁（4/8 授業時配布）。

4 月 27 日（土）2 限 補講①

テーマ 4：国際機構の概念、要件、類型、史的展開

必読文献：植木「第 7 章国際組織法」、小寺「国際組織の誕生」（4/15 授業時配布）

参考文献：佐藤哲夫『国際組織法』第 1 章、第 2 章。

参考文献：黒神直純「国際事務局の成立とその発展」岡山大学法学会雑誌 52 巻 4 号（2003 年）、1-45 頁。

4 月 27 日（土）3 限 補講②

テーマ 5：国際機構の構成、意思決定、法主体性

必読文献：植木俊哉「第 7 章国際組織法」（配布済み）

参考文献：位田隆一「国際機構における表決制度の展開」林他編『国際法の新展開』（東信堂、1989 年）、115-151 頁。

国際機構法基本文献

日本語

- ・ 佐藤哲夫『国際組織法』（有斐閣、2005 年）
- ・ 中村 道『国際機構法の研究』（東信堂、2009 年）。
- ・ 家 正治編『講義 国際組織入門』（不磨書房、2003 年）。
- ・ 香西茂、安藤仁介編『国際機構条約・資料集[第 2 版]』（東信堂、2002 年）。

* その他の論文等については、適宜、授業中に指摘する。

英語

- ・ Nigel White,
The Law of International Organizations, 2nd edition, 242p.,
Manchester UP, 2005.
- ・ C.F. Amerasinghe,
Principles of the Institutional Law of International Organizations,
2nd edition, 535p., Cambridge UP, 2005
- ・ Henry G. Schermers & Niels M. Blokker,
International Institutional Law, tth Revised edition, 1273p.,
Martius Nijhoff Pub., 2011.
- ・ Jan Klabbbers,
An Introduction to International Institutional Law, 2nd edition, 360p.,
Cambridge UP, 2009.
- ・ Philippe Sands and Pierre Klein,
Bowett's Law of International Institutions,
Sweet and Maxwell, 2001.